

忘れられない音楽交流

私は居室で、4名のご利用者へ弾き歌いを行なっていました。

その中のO様は、いつも季節の唱歌や童謡、歌謡曲などをお聞かせするとニコニコ微笑まれ、「いいね」「声がきれい」などと話し掛けてくださいました。時にはO様から、「節が違うよ」とコメントがあったり、声を出して笑ってくださることもありました。

『ふるさと』や『我は海の子』を、私と一緒に歌ってくださることもあり、とても嬉しかったのを今となっては覚えております。音楽を通して、気持ちが通じたようで幸せな時間を過ごしました。

のちにO様はご飯を食べられなくなり、お看取り対応となりました。

私は、O様の元を訪れ、1日に午前午後と10分ずつ音楽は続けました。お看取りの初期は、普段通りのO様で、お部屋に入ると、「来たんだね」と反応してくださり、にこやかに音楽を聴かれておりました。

O様は、日が増すことに体力が弱まり、苦しそうに呼吸をされていました。しかし、私が弾き歌いをする、口を動かして歌おうとする気力が見られて、私も今の時間を大切にと、気持ちを込めて演奏をしました。

ある日O様は、私が音楽をした数時間後に亡くなりました。入職して数ヶ月でしたが、O様と共に過ごした時間や、喜んでくださった表情や、頂いた言葉は忘れることのないかけがえのない思い出になりました。

(専門職)

